図書館だより 6月

令和8年6月号
泉が丘小学校

6月は、旧暦（昔の日本の暦）では、「水無月」と呼ばれます。６月は梅雨の時期なので、水が無い月と書く言葉には違和感がありますね。水無月の「無」は「の」と読めるので、「水の月」という意味になり、田んぼに水を張るのが６月ごろのため、この呼び名がついたとされています。梅雨の時期は、室内で読書を楽しみましょう。

蔵書点検による図書室休館のおしらせ

6/8（月）～6/26（金）

期間中は本の点検のため、図書室は立ち入り禁止となります。本の返却・貸出・読書はできません。蔵書点検が終わって開館したら、本を返しましょう。



蔵書点検前の特別貸出

6/1（月）～6/5（金）

期間中、一人5さつまで（チャレンジブックは１さつまで）借りることができます。また、読み終わった本を、業間昼休みに借りかえることができます。

今日はこんな日

★6/15は、栃木県民の日です。
県民が、郷土を見直し、理解と関心を深める日として、昭和60年（1985）に制定されました。



とちぎのキャラ
ルリちゃん

☛おすすめの本は・・「歴史と文化を訪ねる 日本の古道・五街道③ 日光街道 奥州街道」安田雅章/21レ３
日光街道沿いには、日光東照宮などの世界的史跡があります。栃木県全体が、宿場町として栄えていた歴史を紹介しています。





6月におすすめの本



『ガマ千びきイワナ千びき』

最上一平作【文溪堂】

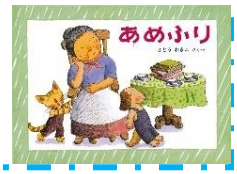
滝を登ろうとしては、落ちるイワナ。ガマは無理だと呆れつつ、イワナに憧れ好きになります。ある大嵐の日、ついにイワナは、滝を登り…残されたガマがとった行動は?



『あめふり』

さとうわきこ作【福音館書店】

長雨に怒ったばばばあちゃん。こしょうやとうがらしでからい煙を作ると、かみなりたちがくしゃみ連発で、地上へ落ちてきた!どうする、ばばばあちゃん。



『ワレワレはアマガエル』

松橋 利光作【アリス館】

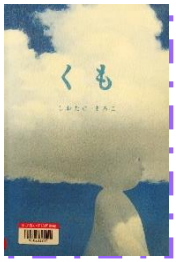
アマガエルのくらしを知っている? ギャッギャッという大きな声のひみつや、産卵からおたまじゃくしになり冬眠するまでを、アマガエルが楽しく紹介する写真絵本。



『くも』

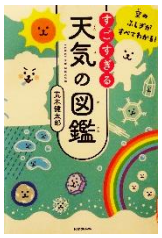
しおたに まみこ作【偕成社】

もし、くもたちと仲良くなれたら、暑い時に日陰をつくってくれたり、雨の日にちょっと空を見せてくれたり。梅雨の空をじっくりとながめたくなる作品。



『すごすぎる天気の図鑑』荒木健太郎作【KADOKAWA】

雲ができるのは空気が汚れているから? 花粉で空が虹色になる? 雷はどこに落ちる? 空や雲、天気の疑問をわかりやすく解説。これで君もお天気博士!?



『水の一生図鑑』

子供の科学編集部編【誠文堂新光社】

自然界における水の力と大切さを、美しいイラストで解説。地球上の水の循環や海や川の動物、人間が水をどう利用しているかなどを紹介。



「本のお楽しみ袋」、今年もやります!

7/3(金)～7/24(金)

図書委員会が、おすすめの本を選んで袋につめる、本のお楽しみ袋を作ります。どんな本が入っているかは、開けてからのお楽しみです!本の紹介文をよく読んで、気になる本を借りてください!

詳しくは7月号でお知らせします。

